

令和4年11月5日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員	横田川 真人
島田市議会議員	提 坂 大 介
島田市議会議員	藤 本 善 男
島田市議会議員	村 田 千鶴子
島田市議会議員	大 関 衣 世
島田市議会議員	天 野 弘
島田市議会議員	大 村 泰 史

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和 4年 11月 5日（土）
午後 7 時 00 分～午後 8 時 15 分
- 2 会場 北部ふれあいセンター（コミュニティホール）
- 3 参加者数 24 人（男性 24 人、女性 0 人）
- 4 役割
 - (1) 受付 提坂
 - (2) 司会 藤本
 - (3) 挨拶（概要） 横田川
 - (4) 報告 厚生教育常任委員会 村田
経済建設常任委員会 大村
総務生活常任委員会 大関
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 天野

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 厚生教育常任委員会

重要案件として取り上げた5つの事業について、その理由及び今後の課題・内容を説明した。最重要課題については、「こども発達相談事業」を取り上げた理由として、言語障害者が増えていることから、専門分野の従事に伴う予算・人事の確保を要望していきたいことから取り上げた。

② 経済建設常任委員会

重要案件として取り上げた5つの事業について、その理由及び今後の課題内容を説明した。最重要課題については「人・農地プラン策定事業」を取り上げた理由として、今後の農業振興にとって農地の集約が必要と思われたことから。

③ 総務生活常任委員会

重要案件として取り上げた5つの事業について、その理由及び今後の課題内容を説明した。最重要課題として「一般廃棄物最終処分管理費」を取り上げたが、その理由は今後最終処分をどうするのか、市内での処分適地を探す必要があると考えられたから。

④ 報告に対する質疑

・ Q 放課後児童クラブの公設民営化の具体的な運営方法について教えていただきたい。

A 運営を市から民間に委託（包括委託）して行っている。

Q 公設民営の意味がよく分からない。16ある放課後クラブ全てを民間が運営しているのか。保護者が支払う料金について、どのようになっているのか。

A 施設は小学校にあるので公設であるが、運営の全てをシッダクス大新東に包括委託している。また、料金については、金額は市が決定するが、支払いは委託先会社に支払うことになっている。

Q 活動における責任については、どのような取り扱いになっているのか。

A 責任の所在については分からないが、何かあれば委託先の会社が対応している。

Q 先の台風15号の被害で、伊久美郵便局は道路が復旧するまでの期間休業していた。郵便局が、今後、行政事務の一部を行うことが静岡新聞に掲載されていた。郵便局が行政事務の一部を行うことになれば、伊久美にも将来郵便局が残るようになるのではないかと考える。

司会 台風による被害に関することは、後ほどの意見交換会の中で議論したいと思うので、よろしく願います。

(2) 意見及び情報の交換について

今回のテーマ「地域課題について、小学校統廃合について」

司会 今回の議会報告会の共通テーマとして「地域課題について」を取り上げているが、この北部会場では特に小学校の統廃合についてご意見を聞きたいと思う。その後で、その他について意見交換を行いたいと考えている。さらに、議会では中山間地域の振興に関する特別委員会を新たに設置し、条例制定に向けて活動を行っている。これに関してもご意見をいただければと思う。まず、小学校の統廃合について意見をいただきたい。

議会報告会に先立って、教育委員会から今までの経緯について説明を受けている。夏に北部各地区で説明会が開催され、現在、カリキュラム検討委員会で諸課題の検討を進めていると聞いている。スクールバスの運行についても教育委員会からも説明を受けている。

小学校統合について

- ・ Q 北部4校が第一小学校に統合するとの説明であるが、今回は第一小学校を含めた5校が一緒になると考えていただきたい。
A 今回の対応は、5校が統合することを否定するものではないと考えている。
Q 5校が統合されて、今の第一小で一緒になるとの認識でお願いしたい。
- ・ Q 今まで学校再編の説明会に出席してきたが、考え方は4校が一小にするとの考え方を修正していない。先ほどの冒頭の挨拶の中でも、4校が第一小に統合されるとの説明があった。
A 今後、発言について注意していきたい。
- ・ 司会 スクールバスにおいては、現在中学生対象に2方向で走らせている。小学校の統合に伴って、バス3台を購入予定である。学校から自宅までの距離3kmを境に徒歩とバスに区分することを検討しているようである。
A 3kmを境にすると、伊太はほとんどが徒歩通学となる。生徒数が少ないので、距離だけでなく、子ども一人一人に対して配慮をして決定して欲しい。

台風15号について

- ・ Q 県道の崩壊があって今後不安を感じたが、数日で相賀小川線が利用できるようになり大変助かった。また、犬間から鍋島に抜ける林道、大森から家山に抜ける林道が比較的早く通行可能となったことを感謝したい。今回、林道が利活用できて大変助かった。
A 災害時における林道のう回路としての利活用について、しっかり承りたい。
- ・ Q 災害の翌日、伊久美へ抜ける林道を点検してみた。すでに、業者が入って整備し迅速な対応がなされ、通行可能となった。ただ、夜間に林道への入り口が分か

らないとの声があった。林道は地図にも載っておらず、通行にはリスクもあるが、日頃の点検確認が必要だと思った。

A 林道は本来、林業のための道路である。しかしながら、北部地域ではう回路がない一般道路も多いので、緊急避難的に災害時に備えて整備・点検する必要があると感じた。また、今回、堰堤や谷止め工も減災の効果を発揮したと考えるので、今後対応していきたいと思う。

・ Q 伊久美地区では、今回、小川の公会堂が避難所として開設された。夜の9時頃避難所が開設されたと連絡が入った。避難所まで危険が伴うので、この時点での避難は難しかった。避難情報の出し方や避難所開設のタイミングについて検討すべきと考えるがいかがか。

A 先日、会派の集まりの中で、今回の避難情報の出し方について検討すべきとの意見があった。今後、議会の中でも今回の災害対策について検証するので十分に議論していきたいと考える。

・ Q 過去、伊久美では3回の大きな水害を経験してきた。今回、以前に比べて復旧が大変早かった。災害の次の日には、藤枝、島田に抜けることができた。大変感謝している。

Q 今回、行政の力だけでなく、地元の方々の協力があって迅速な対応ができたものとする。災害時には地域の力が何より大切であることを感じた。

(3) 市等への要望事項

テーマ中の要望以外に、要望はなかった。

6 まとめ（所見）

今回、共通テーマであった小学校の統廃合及び今回の水害に対する意見がほとんどで、その他の意見は出されなかった。中山間地域振興に対する意見については、ほとんど意見は出されなかった。大きなテーマでもあるので、別途、地域の意見を聞く必要があると思われた。